

2024 年度中に、法律文化社より、2000 頁に及ぶ大部の体系書の発刊を予定しており、それをもって研究実績とする。

部分的な研究成果も多数あるが、以下では、代表して統括（三柴）の主要業績のみ掲載する。

なお、2022 年 10 月 29 日に、日本労働法学会第 139 回大会で、鎌田代表理事の司会のもと、三柴が中心となり、労働安全衛生法をテーマとする大シンポジウムを開催し（報告内容は、同学会誌 136 号〔2023 年〕に掲載）、労働法学の潮流に労働安全衛生法学の足跡を残したことは、法学領域において大きな成果と言える。

1. 論文発表

三柴丈典「新型コロナ禍の労務に関する法律論」2021 年 7 月

交通医学（日本交通医学会）シンポジウム ウィズコロナ時代の産業保健 75 巻 3・4 号
56 頁～57 頁

T.Mishiba. 2021. The background and current state of implementing a legal system for stress checks in Japan. *Industrial Health* 60(2) 183-195

三柴丈典「日本産業保健法学会の設立とワクチン接種に関する見解」2021 年 11 月
NBL（商事法務）1205 号 1 頁

三柴丈典「病気休職と期間満了退職 一東海旅客鉄道事件」2022 年 1 月
労働判例百選 第 10 版（株式会社有斐閣）58 巻 1 号 154 頁～155 頁

T.Mishiba. 2022. Workplace Mental Health Law: Perspectives Based on a Comparative Analysis of Legislation in Seven Countries. *International Journal of Comparative Labour Law and Industrial Relations* 38(1) 53-86

三柴丈典「日本の健康情報等取扱い法理と産業医制度」2022 年 5 月
日本労働法学会誌（法律文化社）185-188 頁

三柴丈典「日本産業保健法学会設立の狙い」2022 年 7 月
産業保健法学会誌（一般社団法人日本産業保健法学会）第 1 巻 1 号（第 1 回学術大会特別号）12～24 頁

T.Mishiba=K.Kurashige, S.Nakazawa.2023. Legal Protection of the Health and Safety for Gig Workers: The Present Status and Future Prospects in Japan. *Journal of Work*

Health and Safety Regulation 1(1) 54-91

三柴丈典「総論：安衛法の来し方行く末」 2023年5月
労働法学会誌136号7～22頁

三柴丈典「問題行動がみられ発達障害が疑われた労働者の退職措置が違法とされた例」
2023年9月
労働判例（産労総合研究所）1289号5～9頁

三柴丈典「個人と組織の健康測定・情報管理と法」 2024年1月
日本労働研究雑誌（労働政策研究・研修機構）762号4～14頁

2. 学会発表

三柴丈典「産業保健と法～産業保健法学の狙い～」
日本産業保健法学会第1回学術大会 大会長講演
2021年9月23日（一橋大学 一橋講堂、およびライブ、オンデマンド配信）

三柴丈典「健康情報等の取扱いと法」
日本産業保健法学会第1回学術大会 教育講演1
2021年9月23日（一橋大学 一橋講堂、およびライブ、オンデマンド配信）

三柴丈典「健康情報の取扱い法理と産業医の役割」
第138回大会 日本労働法学会 ワークショップ 第2部第2会場 報告
2021年11月7日（オンライン開催）

三柴丈典「ポストコロナの働き方と法 ～テレワークを焦点に～」
第31回日本産業衛生学会全国協議会 メインシンポジウム第二部 「ポストコロナの働き方・産業衛生への提言」
2021年12月5日（三重県総合文化センター、およびライブ、オンデマンド配信）

三柴丈典「精神病者の復職判定をめぐる裁判例の到達点」
第19回日本うつ病学会総会 特別講演3
2022年7月15日（J・COM ホルトホール大分、ハイブリッド開催）

三柴丈典「メンタルヘルス情報の取扱いと法」
第5回日本うつ病リワーク協会年次大会 リワーク委員会企画シンポジウム1 【地域連携

委員会】

2022年7月16日（J・COM ホルトホール大分、ハイブリッド開催）

三柴丈典「リモート勤務とメンタルヘルス不調者の休復職対応をめぐって～法務と医療実務の視点から～」

日本産業保健法学会第2回学術大会 シンポジウム1 基調講演

2022年9月17日（全国町村会館およびライブ、オンデマンド配信）

三柴丈典「総論：安衛法の来し方行く末」日本労働法学会第139回大会 大シンポジウム 報告2022年10月29日（法政大学）。

Takenori Mishiba : Protection of Workers' Voices concerning Their Health and Safety in Japan and Reflection on Improvement Plans

Joint Congress of ICOH-WOPS and APA-PFAW 2023 Symposium 8: Democracy at work, employee voice and whistleblowing (psychosocial factors for speaking up vs. for individual and organisational silence, regulatory and cultural aspects). S8-4

2023年9月19日（Hitotsubashi Hall, National Center of Sciences Building, Tokyo, Japan)

Takenori Mishiba : Legally Mandatory Stress Check Program in Japan: Essence of the Concept and Practice

Joint Congress of ICOH-WOPS and APA-PFAW 2023 Roundtable Discussion 1: National policy approach for psychological health Part 1R1-11

2023年9月21日（Hitotsubashi Hall, National Center of Sciences Building, Tokyo, Japan)

Takenori Mishiba : Workplace mental health law

Joint Congress of ICOH-WOPS and APA-PFAW 2023 Special Session 6

2023年9月22日（Hitotsubashi Hall, National Center of Sciences Building, Tokyo, Japan)

3. 座談会

角元利彦、山田周、三柴丈典「労働安全衛生法制定から50年—労働安全衛生法制定と作業環境測定制度の進展—」

2023年5月1日

作業環境（日本作業環境測定協会）第44巻第3号 4～27頁